

別記様式（第3条関係）

事務事業評価調査書（26年度）

No.	11		作成日	平成26年9月29日	
総合計画	章	1	年 度	平成25年度事業	
	項	2	課等名及び係名	消防本部 警防課	
	節	4	記入者職氏名	警防課長 和田 浩	

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事務事業名	消防施設等の整備事業（火の見櫓の更新）			
事業概要	対象	各地区の現有する火の見櫓		
	目的	老朽化施設の更新		
	実施内容	老朽化した火の見櫓を撤去し、代わりにホース吊下げ柱及びサイレンを設置するものです。		

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	消防施設
	款	8	消防費		事業名 (施策名)	ホース吊下げ柱モーターサイレン設置及び火の見櫓撤去工事
	項	1	消防費			
	目	3	消防施設費			
	事業名	臨時的な消防施設費（投資、単独）		根拠法令		

【事務事業の実施状況】

III 事業費の推移及び終期

年度	事業費（決算・予算）	財源内訳（単位：千円）				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
22年度実績	914				914	
23年度実績	1,943				1,943	
24年度実績	3,738				3,738	
25年度実績	2,888			2,800	88	
26年度当初	3,097			3,000	97	

特定財源の種類 25年度分	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率

IV 執行状況

執行状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
状況説明	昭和30年代に設置された56基の火の見櫓が腐食等により老朽化しているため、毎年度2基程度をホース吊下げ柱（サイレン付）に更新している。平成25年度までに15基を更新した。		

V 問題点の概要

問題点	火の見櫓はホース乾燥の施設でもあり消防団員が上るため、老朽化により落下の危険がある。また、強風により屋根が飛ばされた事例もあり、放置すると危険であるが、財政面を考慮しながら計画的に更新しなければならない。
-----	--

VI 成果指標

成果指標名	単位	25年度		26年度		27年度		28年度		対28年度 目標達成率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
ホース吊下げ柱設置数	基	2	2		2		2		2	100%
指標に表われない効果	消防用ホースを乾燥するために火の見櫓に上ってホースを吊下げていたが、ホース吊下げ柱にすることで、消防団員が安全にホースを吊下げることができる。									

【事務事業の評価】

◎一次評価（担当課においての評価）

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか。 ○対象・意図を見直す余地はあるか。 ○町が実施又は関与すべき目的であるか。	■妥当である □どちらともいえない □妥当でない	老朽化した施設であり更新しなければならない。
有効性	○成果向上の余地があるか。 ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか。 ○目的が達成されたか。	■有効である □どちらともいえない □有効でない	消防団員の安全確保及び施設の維持管理についての目的を果たしている。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か。 ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか。 ○他の事務事業との統合は可能か。	□効率的である ■どちらともいえない □効率的でない	毎年2基程度の更新を図っているが、設置数が多いため終了まで年数を要する。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか。 ○負担者（納税者）の理解は得られているか。	■公平である □どちらともいえない □公平でない	サイレンを設置しているので、火災等の周知には各地区に必要である。

II 総合評価

今後の方向性	2								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続（事業規模を拡充する）</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続（現行どおり）</td> <td>6 休止又は廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し（実施規模を縮小する）</td> <td></td> </tr> </table>		1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する	2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止	3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了	4 見直し（実施規模を縮小する）	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する								
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止								
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了								
4 見直し（実施規模を縮小する）									
<p>【総合評価】※理由、具体策及び今後の課題等を記入してください。</p> <p>平成27年度以降も順次更新する必要があるが、予算面を考慮すると年2基程度を目標として実施しなければならず、終了までには長期間を要する。</p>									
<p>【所属長意見】</p> <p>財政面を考慮しながら老朽化した火の見櫓を早期に更新する必要がある。</p>									

1 1 消防施設等の整備事業（火の見櫓の更新）

◎二次評価（事務事業評価委員会による評価）

今後の方向性	1								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続（事業規模を拡充する）</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続（現行どおり）</td> <td>6 休止又は廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し（実施規模を縮小する）</td> <td></td> </tr> </table>		1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する	2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止	3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了	4 見直し（実施規模を縮小する）	
1 継続（事業規模を拡充する）	5 他事業と統合する								
2 継続（現行どおり）	6 休止又は廃止								
3 継続（実施方法、実施主体等を変更する）	7 終了								
4 見直し（実施規模を縮小する）									
<p>【具体的内容】</p> <p>老朽化が激しい施設については、優先的に更新すること。</p>									
<p>【備考】</p>									